

## 認可地縁団体 高尾台町会 令和4年度 第1回 防災会議議事録

日 時：令和4年5月28日（土）10：00～11：00

場 所：高尾台町会会館 1階

出席者：防災会議構成員…北 町会長、稲垣副会長、勝裕副会長、毛利副会長、関 総会計、山田会計、竹内総務部長、今井総務委員、武蔵総務委員、新田総務委員、中川総務委員、清水アドバイザー、川原防火管理担当部長、越野相談役  
勝裕（記録）

### 会議次第

#### 町会長挨拶

お忙しいところお集りいただきありがとうございます。本日は令和4年度第一回目の防災会議です。コロナ禍においても災害が発生することには変わりはありません。高尾台町会の皆さんが少しでも安心して暮らせるよう防災について考えていきたいと思っておりますので、皆様よろしく願いいたします。

その後、

出席者一同、自己紹介を行なった。

#### 議事内容

##### 1. 令和4年度防災活動計画について

別紙「令和4年度防災・防火活動計画」をもとに説明した。

- ・防災勉強会はコロナウイルスの状況を見ながら実施予定。役員会や臨時班長会議等に合わせたの実施も考慮する。
- ・防災会議は3回/年の開催を予定している。
- ・防災懇談会もコロナウイルスの状況を見ながら実施する予定である。
- ・校下一斉防災訓練の実施は9月頃を予定している。
- ・防災資機材棚卸しは“ぼうさい高尾台”の方にも協力いただきたい。
- ・防災士資格取得に令和3年度は2名の方が合格したが、令和4年度も目標を5名としたい。
- ・防火訓練は総合訓練と水消火器による消火訓練を考えており、いずれも町会イベントに合わせて実施したい
  - …本防災会議後、第一回目の総合訓練（消火、通報、避難）及び建物の防火自主点検を実施。
  - …水消火器による消火訓練は5月開催予定であったが、バーベキュー大会が中止となったため訓練も中止した。

2. 令和4年度 予算計画について

防災会議等関係費、防災資機材等購入費について用途ごとに説明した。

- ・ 広報費の防災関係書籍の購入について

見やすい分かりやすい書籍を購入したく、これから書籍を検索する。

- ・ 防災施策費について

昨年度の役員会、総会で承認を得ている玄関先に表示する「安否確認板」を今年度は全戸配布したい。

3. 防災懇談会施策概要（案）について

概要（案）をもとに説明した。

活動内容を具体化するために皆様の意見をお聞かせ願いたい。

【意見】

- ・ 越野相談役

例えば、「安否確認板」を使った安否表示訓練を班長他、ぼうさい高尾台メンバーも参加してもらい実施、その後、集合可能な方は会館に一時避難の練習をして最後に反省会を実施する、といった方法等もある。コロナウイルスの状況を鑑みながら皆さんで意見を出し合って懇談会の方法を考えると良いのではないか。

- ・ 清水アドバイザー

懇談会の内容はあまり難しく考えないようにすれば良いと思う。防災勉強会や防災懇談会の一番の目的は顔見知りになること。知っている人同士では会話が生まれ、その関係性が災害発生時にスムーズな情報伝達を可能にしている。防災懇談会を各丁目ごと企画する理由は、同じ町会でも丁目ごとに防災の中身が違っている（例えば、1丁目山側は土砂災害の危険性あり、また1丁目には高齢者宅が多いが、3丁目は比較的若い世帯が多い等）ため、町会全体で考えるよりは各丁目単位で考える方が現実的である。コロナ禍ではあるが、防災懇談会の開催に向けてゆるやかに考えていけるとよい。

- ・ 越野相談役

防災の取り組みは持続することが重要で、出来る事から始めてはどうか。また、各丁目ごとに出来る限り小集団で実施し、顔の見える関係づくりを進めていくことが大切である。

- ・清水アドバイザーから報告事項

金沢市の「コミュニティー防災士会」という組織に、伏見台防災士会のメンバーより2名以上の加入が必要であり、この度、私たち（清水夫妻）が加わった経緯がある。金沢市の動向などを伏見台防災会に報告する立場のため、今後は高尾台町会にも情報をお知らせしたいと思っている。

- ・川原防火管理担当部長

防災備蓄品について、災害が発生し避難所が設営された際、行政が準備・用意してくれることがどの程度なのか？また、町会として準備・用意しなければならないことがどの程度なのか？という疑問がある。

- ・清水アドバイザー

基本は各自（各家庭）で備えておくということである。例えば家族の非常食を三日分用意しておく等。金沢市（行政）の役割はあくまでも避難所の運営であり、もし行政より「町会はこうあってほしい」と依頼があった部分だけを町会は考えていけば良いのではないかな。

- ・越野相談役

町会では災害時を想定し各家庭で備蓄品（非常食含む）を備えることの重要性を基本に考えている。家族構成も含め家庭環境は様々であり、備えるべきものや数も様々なため、あくまで町会に用意してある防災備品や非常食は災害時等において自宅の用品が不足した時等、緊急時に臨機に対処するためのものと考えてほしい。

頂いた意見を参考に、今後の防災活動、及び防災懇談会の活動内容を具体化していきたい。

#### 4. 新防災活動組織について

- (1) 防災力強化活動組織表（令和4年度定例総会資料30ページ）
- (2) 避難所運営組織表（令和4年度定例総会資料29ページ）
- (3) ぼうさい高尾台名簿（令和4年度定例総会資料31ページ）

それぞれ、令和4年度定例総会資料でメンバーが紹介された。

## 5. その他

### (1) 防災資機材（避難はしご）の更改について

従来から2階和室に常置されていたロープタイプの「避難はしご」を、使い勝手を考慮（安全性の向上を目的）して（はしごタイプに）更改した。

今回、防災会議構成員で更改後の避難はしごを実際に2Fから吊り下げてみて取り扱い体験を行った。

### (2) 安否確認板（安否蛍光タペストリー）の配布について

6月上旬にメーカーより（750枚）納入予定であり、それに合わせて案内文を（全戸分）印刷したい。

なお、本品は班長連絡会開催の際に各班長に班員分を配布し、各班長は全班員に戸別配布することとしたい。

以上、本会議の議事録はホームページに掲載します。